



西眼科病院 〒537-0025 大阪市東成区中道4-14-26 TEL: 06-6981-1132
<ホームページ><http://www.nishi-ganka.or.jp> <e-mail>office@nishi-ganka.or.jp

白内障日帰り手術について

「日帰り」か「入院」かは患者さんに選択していただきます

白内障日帰り手術は、手術を受けた後、一定時間安静後、その日の内に帰宅する手術です。日帰りの為、入院による“精神的”“時間的”“身体的”“経済的”負担が軽減されます。当院では、平成元年(1989年)から日帰り手術を行っており、最近では白内障手術を受けられる患者さんの5割以上が(2002年5月現在)日帰り手術を受けています。“日帰り”か“入院”かは、患者さんに選択していただきます(下記参照)。

アメリカやヨーロッパでは、かなり以前から白内障の日帰り手術が主流となっています。この背景には、手術法の進歩と確かな技術があります。手術法の進歩により身体への負担が少なく、術後の回復が早くなり、従来のような入院をしなくてもよくなった訳です。これまで日帰り手術そのものに起因すると考えられる合併症は経験しておりません。手術前後の処置、診察、治療は入院しての手術の時と全く同様です。具体的に当院では、

1. 手術前日に最終的な眼の状態のチェック及び術前処置のために来院する。
2. 手術当日は原則的には、朝食を取らず来院する。術前処置を受け、手術を受ける。数時間安静を保った後、帰宅する。
3. 手術の翌朝必ず“診察”“治療”“処置”を受けに来院する。

としております。

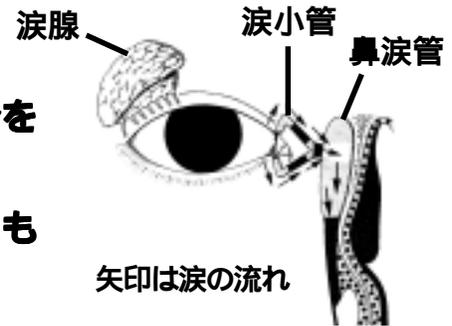
当院では、日帰り手術でも入院手術でも最高のスタッフと設備を備えております。安心して手術をお受け下さい。

当院の白内障・眼内レンズ手術：1999年2111眼 / 2000年2172眼 / 2001年2202眼。

正しい点眼方法について

点眼方法の要点

- 1回1滴で十分です。
- 容器は眼から2～3cm 離しましょう。
- 点眼後はしばらく目を閉じ、軽くめがしら部分を3分間押さえてください。
- 2種類以上の点眼薬を使用する場合は少なくとも5分以上の間隔をあけてください。



1. 適切な点眼量は？

結膜嚢内(けつまくのうない)(ふだん涙が溜まってる場所)に保持できる薬の量は最大30 μ lで、すでに涙が7 μ l溜まっています。1滴の点眼量はおよそ50 μ lですので点眼瓶(てんがんびん)から落ちる1滴は、目の中からあふれるほどの十分な量があります。一度に数滴点眼しても、効き目がありません。したがって点眼量は1滴で十分ということになります。

2. 点眼容器の先は清潔に！

点眼時、容器の先が「まぶた」や「まつげ」等に触れると「めやに」や「雑菌」などのために、薬が汚染または混濁することがありますのでご注意ください。

3. まぶたを閉じ、軽くめがしらを押さえるのは、なぜ？

点眼し、あふれ出た薬が鼻涙管(びるいかん)を介して鼻や口等、全身に移行します。わずかな量ですが、まれに副作用を生じる場合があります。目に薬を留める意味からも重要です。

4. (片目に2種類以上、点眼する場合) 適切な点眼間隔は？

点眼した薬は約5分間程、目に留まっています。薬の効き目を最大限に、副作用を最小限にするためにも点眼は一般に5分以上間隔をあけるのが良いでしょう。

外来診察受付時間

		月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00～12:00迄 (初診11:30迄)						休診	休診
午後	14:00～16:30迄 (初診16:00迄)				休診		休診	休診

祝日：休診
前回来院時から3ヶ月以上経過の方は初診扱いとなります！

外来診察担当医表は受付カウンターに設置しています。
ご自由にお持ち帰りください！

